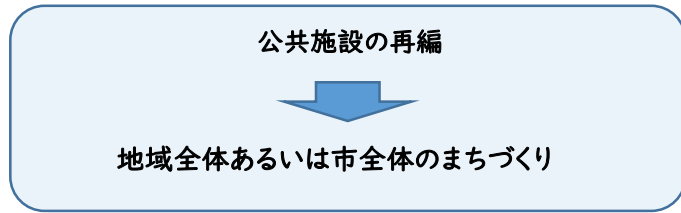


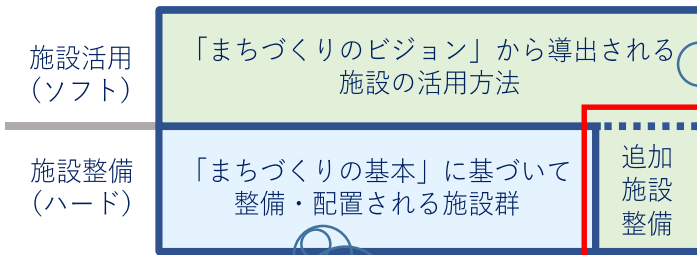
# ～ 公共施設再編の基本的な考え方と方針について ～

## ■ 公共施設再編の基本的な考え方 (資料No10-3 P7参照)



【必要な二つの視点】  
今見えるビジョンを大切にすることは重要である。一方、長い施設の寿命を前提とすると、社会の変化の中でも共通する事項に沿った普遍性を有した考え方も持つことも重要。

### 「まちづくりの基本とまちづくりビジョン」イメージ図



地域特性などによる個々の対応

### まちづくりのビジョン

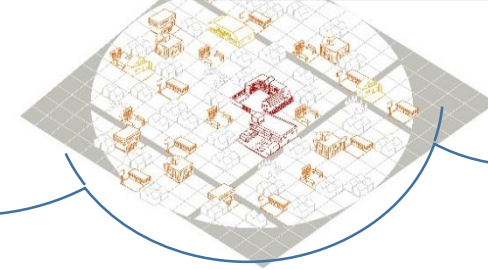
#### ■ IDUが目指すところ

生活に必要なものが歩いて行ける場所にある  
最小必要機能

外出する、したくなる「きっかけ」がある  
活動・支援拠点

365日いつでも安心がある  
互いが見守り、支え合える地域

- 医療、福祉サービス
- どこに住んでも格差のない福祉サービス
- 民間施設（企業）と連携した日常生活のサポート
- 市役所の外で支援する＝アウトリーチ型支援
- 休憩や避暑ポイント
- 行きやすい地域のたまり場  
⇒友人、顔なじみとの会話、新たな出会い
- 地域力（コミュニティ力）のある地域
- 住民同士の見守り（地域全体での見守り）
- 行政と地域住民が連携した見守り・支援体制



「まちづくりのビジョン」は時代や環境によって少しずつ変わっていくこともあると認識し、変化への対応のし易さも考えておく必要がある

### まちづくりの基本 = 普遍性のある原則

誰もが暮らしやすいコンパクトなまち

「暮らしやすい」・・・ 様々な視点とサービス等の機能

↓相反・バランスの必要

- 「コンパクトなまち」・・・
- 1) 歩いて行ける範囲
  - 2) 施設の集約化
  - 3) 効率性

などから普遍性の原則を検討してみる

20XX年

2066年

